

2022 年 7 月 3 日(27 週目) 主日礼拝

「従順するダビデ」(Ⅱサムエル 5:19-25)

○講壇のメッセージにおいて、聖書の内容を順番に伝えている。聖書の内容、テーマとは。

1、創世記 3:15(キリスト): 女の子孫であるキリストが、悪魔の頭を踏み砕く。この約束を信じる時に救われることが出来る。

2、霊的な戦い(エペソ 6:12): 私は、悪魔との霊的な戦いをしている。伝道と宣教を主な内容としている。

3、霊的指導者(弟子、レムナント): 霊的な戦いをするためには霊的なリーダーが重要である。霊的な指導者がいなかったから世の中に問題が起きた。霊的な指導者が必要。

○福音宣教教会から、①DL ムーディーのような牧師、②ジョン・ワナメーカー、ロックフェラーのような産業人、③コンスタンティヌスのような王が起こされるように祈る。

○霊的な指導者によって災いが終わるようになる。サタンも軍隊になっている。軍隊であるので、教会も軍隊である。衣食住は当然責任を負われる。私は福音宣教教会の軍人。

教会を通して答えを受けるようになる。私は霊的な指導者だというプライドを持つように。私は 70 人弟子である。

1.不従順するサウル	2.従順するダビデ	3.神殿建築の決断と祝福
▲サウルはリーダーであったが、不従順をする人物であった。 1) I サムエル 13:12-13(今にもペリシテ人がギルガルの私のところに下って来ようとしているのに、私は、まだ主に嘆願していないと考え、思い切って全焼のいけにえをささげたのです。」サムエルはサウルに言った。「あなたは愚かなことをしたものだ。あなたの神、主が命じた命令を守らなかった。主は今、イスラエルにあなたの王国を永遠に確立されたであろうに。)」 ・ペリシテとの戦争前に武器がなく農具(鋤や鍬)で戦おうとした ・武器もなく不安の時に全焼のいけにえを捧げようとしたかった →しかし、全焼の生贄を捧げるべきサムエルが現れなかった。 ・不安で人々が逃げ出そうとした時に王は自分で生贄を捧げた。 ・サウル王が主への捧げものを侮ったことである(I サム 2:17)。 →意味としては、キリストを信じれない罪である。 ・リーダーが、神を信じれず現実だけをみて揺れてしまった 2) I サム 15:22-23 (するとサムエルは言った。「主は主の御声に聞き従うことほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえを喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。まことに、そむくことは占いの罪、従わないことは偶像礼拝の罪だ。あなたが主のことばを退けたので、主もあなたを王位から退けた。)」 ・イスラエルの民が、アマレク人と戦う時に、サウル王にアマレク人を絶滅させるように命じられた。 ・サウル王は、主の御声に聞き従わずに、羊や牛を残した。 →サウル王は、サムエルの問いに言い訳をした。 ・サウルは人を恐れ主の御声に聞き従わなかった(I サ 15:24)。 ○サウルは自分の記念碑をたてる程、高慢であった(I サ 15:12)。 3) I サム 16:14(主の霊はサウルを離れ、主からの悪い霊が彼をおびえさせた。) ・サウルは、不従順、高慢など悪霊につかれてしまった。 ・サウル王には確信がなかったため失敗をした。 ・5つの確信(救い、導き、祈りの答え、赦しの確信、勝利の確信)を持つ	▲ダビデの信仰は従順する信仰であった。 1) II サム 5:19(そこで、ダビデは主に伺って言った。「ペリシテ人を攻めに上るべきでしょうか。彼らを私の手に渡してくださいませんか。」すると主はダビデに仰せられた。「上れ。わたしは必ず、ペリシテ人をあなたの手に渡すから。)」 ・ダビデはいつも、主に尋ね求めた。 ・主に尋ね求め講壇メッセージの通りに導かれれば勝利をすることが出来る。 ・ダビデは確信を持っていた。 →5つの確信の内、導きの確信を持った 2) II サム 5:23(ダビデが主に伺ったところ、主は仰せられた。「上って行くな。彼らのうしろに回って行き、バルサム樹の林の前から彼らに向かえ。)」 ・主に尋ねたところ、前から攻めるのではなくて、後ろから攻めた。 ・ダビデは、具体的に祈り答えを受けた ・軍隊の将軍としての生き方であった。 ・私達の経験ではなくて、神様の御言葉を聞きながら歩まなければならない。 ・私は神様の子どもである。 ・日本と世界を生かす主役であるのが私 3) II サム 5:25(ダビデは、主が彼に命じたとおりにし、ゲバからゲゼルに至るまでのペリシテ人を打った。) ・主に従い、ペリシテ人に勝利した。	▲ダビデの素晴らしい信仰は神殿建築をしたことである。神殿運動は、キリスト中心、礼拝中心、伝道中心である。 1) II サム 7:2(王は預言者ナタンに言った。「見なさい。わたしはレバノン杉の家に住んでいるが、神の箱は天幕を張った中に置いたままだ。)」 ・ダビデは神殿建築(福音、礼拝、伝道中心)にオールインした ・どうすれば教会を大きくすることが出来るのか。 ・福音宣教教会が、代表的な教会堂となれるように。 ・主の為の献身は、大胆に進むことが出来るように。 ・教会を強くして、日本をキリスト教国家にするように ・私達は、御言葉についていくことが出来るように。 2) II サム 7:9(あなたがどこに行こうとも、わたしは共にいて、あなたの行く手から敵をことごとく断ち、地上の大いなる者に並ぶ名声を与えよう。) ・主の為に献身をすることは、結局は自分の為にもなる 3) II サム 7:12-13(あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国を揺るぎないものとする。) ・私達の献身は、子孫が祝福をされることである。 ▲結論 ○I サム 16:13(サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真中で彼に油をそそいだ。主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った) ・聖霊様が私を強めて下さる。 ○3.9.3の祈りをするように ①③ 御座の祝福—三位一体の神様が共に ②②9 つの御座の能力 ・3 セッティング—創 1:27/創 2:7/創 2:1-18 ・3 つの超越— 御座/時空間/237 国に光 ・3 つの空前絶後— 私/教会/業(仕事) ③3 つの時代の祝福—牧師/重職者/レムナントと副牧師

現場地教会(2022 年 7 月 3 日～2022 年 7 月 9 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ

私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ

2) イエスわが王よ ここに來られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ

われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス來られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより來たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「従順するダビデ」(Ⅱサムエル 5:19-25)

【讚美】 355 召されたこの身は

【祈り】

①教会の祈りの課題

※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。

②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

御座の祝福を味わう (3・9・3 契約の祈り)	【吐いて】主は生ける神の御子キリストです。 【吸って】いま神の御霊で満たしてください。 【吐いて】御言葉の力が臨まれますように。 【吸って】キリストの御霊で満たしてください。 【吐いて】3つの呪いを解決する力が臨まれますように。 【吸って】助け主聖霊様で満たしてください。 【吐いて】聖霊様の力が臨まれますように。 【吸って】3つの超越の力で満たしてください。 【吐いて】御座の祝福・時空間を超える 237 の光の力が臨まれますように。 【吸って】3つのいのちで満たしてください。 【吐いて】神の形・いのちの息・エデンの園の祝福が臨まれますように。 【吸って】3つの空前絶後の祝福で満たしてください。 【吐いて】空前絶後の私・教会・タラントが回復されますように。 【吸って】3つの時代の祝福で満たしてください。 【吐いて】牧師・重職者・レムナントの時代を味わう祝福をください。
契約の祈り (主日礼拝)	1. 王なるキリストと共に霊的戦いをする軍隊である教会に召され、伝道・宣教でサタンの国を神の国に取り返す 70 人弟子とされたことを感謝します。 2. 悪魔は自分を主人にさせて恐れさせますが、キリストを主人にして、牧師先生とレムナント運動に従順する強い 70 人弟子になるとき、空前絶後の答えが与えられることを信じます。 3. キリストがすべてを完了した福音と 5 つの確信を味わい、祈りで聖霊充滿を受けて、御言葉に従順して日本福音化・世界福音化に献身する 70 人弟子になりますように。
お知らせ	1、レムナントビジョントリップ 7 月 25 日～29 日 2、世界レムナント大会 8 月 3 日～5 日 3、文部科学省から日本語教育機関申請の認可が下りました。 10 月の日本語学校の開校に向けてお祈りをお願いします。
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄 5 丁目 23-8 / tel: 052-238-6003 主日(日曜) 1 部礼拝 7:00 / 2 部礼拝 10:00 / 3 部礼拝 12:00	